

事 項	ぶどう大粒系品種「ヤトミローザ」の特性		
ね ら い	<p>本県における大粒系品種の栽培は、晩生品種が中心であり、早生品種の割合は少ない。</p> <p>「ヤトミローザ」は東京都町田市の矢富良宗氏が「パンノーニア・キンチェ」に「ウーバ・ローザ×ローデ・マスカット」を交配して育成した品種であり、平成2年11月に品種登録された。本品種の特性について検討した結果、花振るいが少なく果実品質も良好な早生品種であることが明らかになったので参考に供する。</p>		
指 導 参 考 内 容	<p>1 特 性</p> <p>(1) 樹の大きさはやや大きく、枝梢の太さは中位である。樹勢はやや強いが、花振るいは少ない。</p> <p>(2) 果房は円錐形の大房で、平均300g以上になる。粒着の粗密は中位である。果粒は平均7.5gの長楕円形、果皮は紫赤色で着色は容易である。果皮は薄く、果肉との分離はやや困難である。果肉特性は崩壊性で、果肉はやや柔らかい、果梗と果粒の分離はやや難であり、脱粒性はない。裂果少ない。</p> <p>糖度は15%程度で酸味は少なく、あっさりした食味である。果汁が多く、香気はない。</p> <p>(3) 開花始めは畑園試(五戸)で6月10日頃であり、開花期は「ブラック・アイ」よりも遅く、「ルビーオクヤマ」よりも早い。</p> <p>(4) 無加温ハウス栽培での収穫始めは、畑園試(五戸)で9月上旬である。</p>		
期待される効果	ハウス栽培における大粒系品種の安定生産および作期拡大が期待される。		
利用上の注意事項	<p>1 ハウス栽培とする。</p> <p>2 改良マンソン仕立てとし、栽植距離は2.5×7.0m(57本/10a)を目安とする。</p> <p>3 長梢剪定とする。</p> <p>4 開花前の摘心は第1花穂の上位4～5葉で行い、副梢は上位1本を残す。</p>		
担 当	青森県畑作園芸試験場 果樹部	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等	平成6～9年度 青森県畑作園芸試験場試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 果実品質

(平成6～9年 青畑園試)

品 種 名	年 次	房 重 (g)	粒 重 (g)	糖 度 (%)	酸 度 (%)
ヤトミローザ	6年	243.1	7.5	13.3	0.51
	7年	198.1	6.5	16.2	0.55
	8年	257.8	7.6	14.2	0.61
	9年	306.9	8.5	14.7	0.55
	平 均	251.5	7.5	14.6	0.56
ブラック・アイ	6年	251.3	12.9	18.4	0.47
	7年	348.3	10.7	18.8	0.50
	8年	236.6	11.4	20.0	0.67
	9年	211.7	11.5	17.8	0.57
	平 均	262.0	11.6	18.8	0.55
ルビーオクヤマ	6年	256.8	9.1	17.3	0.58
	7年	245.6	9.4	16.0	0.71
	8年	288.8	9.3	18.0	0.80
	9年	326.1	9.0	16.4	0.68
	平 均	279.3	9.2	16.9	0.69

注1) 糖度は屈折計示度、酸度は酒石酸含量である。

2) ヤトミローザは平成6年が初結実。

表2 開花期および収穫期

(平成6～9年 青畑園試)

品 種 名	年 次	開 花 始	開 花 盛	開 花 終	収穫開始日
ヤトミローザ	6年	6. 1	6. 4	6.15	9. 1
	7年	6. 8	6. 9	6.20	9. 6
	8年	6.18	6.21	6.27	9. 3
	9年	6.10	6.13	6.19	9. 4
	平 均	6.10	6.12	6.12	9. 4
ブラック・アイ	6年	5.27	5.30	6. 8	9.30
	7年	6. 3	6. 7	6.16	10. 3
	8年	6.14	6.17	6.24	10. 9
	9年	6. 1	6. 9	6.15	9.17
	平 均	6. 4	6. 8	6.16	9.17
ルビーオクヤマ	6年	6. 8	6.11	6.18	11.10
	7年	6.13	6.16	6.28	11. 4
	8年	6.20	6.27	7. 2	11. 7
	9年	6.15	6.18	6.24	11. 5
	平 均	6.14	6.18	6.26	11. 7

注1) ビニールハウスの被覆月日は、平成6年が4月11日、平成7年が4月7日、平成8年が4月10日、平成9年が3月26日である。